

実行計画書目次(個表)

【ビジョン4：自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち】

実行計画番号	実行計画名称	担当所属	頁数
41101	地球温暖化防止啓発等推進事業	環境政策課	4-2- 1
41102	環境マネジメントシステム運用事業	環境政策課	4-2- 2
41103	太陽光発電設備等設置費補助事業	環境政策課	4-2- 3
41104	地域新電力会社運営事業	環境政策課	4-2- 4
41201	不法投棄対策事業	廃棄物対策課	4-2- 5
41202	ごみ減量推進事業	廃棄物対策課	4-2- 6
41203	ごみ資源化推進事業	廃棄物対策課	4-2- 7
41204	クリーンセンター施設整備事業	開発整備課	4-2- 8
41205	地域整備開発事業	開発整備課	4-2- 9
41206	清掃センター施設整備事業	開発整備課	4-2- 10
41207	道路新設改良事業	開発整備課	4-2- 11
41208	舗装事業	開発整備課	4-2- 12
41209	水路新設改良事業	開発整備課	4-2- 13
41210	河川整備事業	開発整備課	4-2- 14
41211	不燃物リサイクルセンター整備事業	開発整備課	4-2- 15
41212	周辺環境美化事業	環境施設課	4-2- 16
41213	事業用地整備事業	環境施設課	4-2- 17
41301	食品ロス削減推進事業	環境政策課	4-2- 18
42101	自然環境保全事業	環境政策課	4-2- 19
42201	畜犬等対策事業	環境政策課	4-2- 20
42202	斎苑施設整備事業	環境政策課	4-2- 21
43101	立地適正化計画策定事業	都市計画課	4-2- 22
43201	公共施設マネジメント推進事業	公共施設政策課	4-2- 23
43301	公園施設長寿命化施設整備事業	市街地整備課	4-2- 24
43302	公園施設整備事業	市街地整備課	4-2- 25
43303	枝葉木粉碎(チップ化)事業	市街地整備課	4-2- 26
43401	新交通システム運行事業	都市計画課	4-2- 27
43402	西部地域C-BUS運行事業	都市計画課	4-2- 28
43403	南部地域C-BUS運行事業	都市計画課	4-2- 29
43404	廃止代替バス路線運行委託事業	都市計画課	4-2- 30
43405	地域公共交通ネットワーク形成促進事業	都市計画課	4-2- 31
43501	空き家対策事業	住宅政策課	4-2- 32
43502	移住・定住促進事業	住宅政策課	4-2- 33
43601	ブロック塀等除却工事事業助成	建築指導課	4-2- 34
43602	アスベスト対策事業	建築指導課	4-2- 35
43603	木造住宅等耐震対策支援事業	建築指導課	4-2- 36
43604	避難路沿道建築物耐震対策支援事業	建築指導課	4-2- 37
43605	狭あい道路対策事業	市街地整備課	4-2- 38
43701	住宅セーフティネット事業	住宅政策課	4-2- 39
44101	水道事業、下水道事業の経営事務	経営企画課	4-2- 40
44201	水道施設の整備事業	水道工務課	4-2- 41
44202	水道施設の整備事業(平野送水場)	水道施設課	4-2- 42
44301	水環境保全事業	営業課	4-2- 43
44302	公共下水道の整備事業	下水道工務課、経営企画課	4-2- 44

実行計画番号	実行計画名称	担当所属	頁数
44303	留保区域における合併処理浄化槽等の設置補助金事務	営業課	4-2- 45

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41101	基本施策 番号	411	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減

事業名	地球温暖化防止啓発等推進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市民等に対し、地球温暖化防止の啓発活動を行い、脱炭素型のライフスタイルへの転換を促進する。また、公共施設への再エネ、省エネ等の設備の導入を推進し、温室効果ガスの削減を図る。				
事業概要	本市のカーボンニュートラル社会の実現に向け、市民や市内事業者の脱炭素なライフスタイルへの転換を促進させるため、地球温暖化対策の啓発活動を推進する。 また、脱炭素化に向けた再エネや省エネ等の設備を効果的に導入するための調査を実施し、調査結果を国の「地域脱炭素の推進のための交付金」等の応募申請に活用する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	1 地球温暖化防止の啓発に係る経費 ・記念品代、職員旅費、消耗品費、印刷製本費 335千円 2 再エネや省エネ等の脱炭素化に向けた設備の導入に係る調査委託経費 ・委託料 8,954千円 3 環境講座開催に係る経費 ・委託料 20千円 【特財】(諸収入)地域再エネ導入を計画的・意欲的に進める計画策定支援補助金 6,715千円 (繰入金)すずか応援基金繰入金 65千円	事業費	9,309	
		財源内訳	特定財源	6,780
		一般財源	2,529	
2025年度 (当初予算額)	1 地球温暖化防止の啓発に係る経費 ・記念品代、消耗品費、印刷製本費 246千円 2 環境講座開催に係る経費 ・委託料 21千円 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 109千円	事業費	267	
		財源内訳	特定財源	109
		一般財源	158	
2026年度 (計画額)	1 地球温暖化防止の啓発に係る経費 ・記念品代、消耗品費、印刷製本費 246千円 2 環境講座開催に係る経費 ・委託料 21千円	事業費	267	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	267	
2027年度 (計画額)	1 地球温暖化防止の啓発に係る経費 ・記念品代、消耗品費、印刷製本費 246千円 2 環境講座開催に係る経費 ・委託料 21千円	事業費	267	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	267	

活動指標	市民に対する啓発回数	単位	回	事業費合計	10,110
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	15	15	15	15	特定財源 6,889
②実績値					一般財源 3,221
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41102	基本施策 番号	411	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減

事業名	環境マネジメントシステム運用事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市の事業活動から生じる環境負荷を軽減するため、各所属の事業活動における環境負荷を管理する。				
事業概要	鈴鹿市独自の環境マネジメントシステム(Suzuka-EMS)を適正に運用することで温室効果ガス削減など環境負荷の軽減を図る。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	環境マネジメントシステム運用に係る経費 ・職員研修旅費 4千円 ・消耗品費 8千円 ・職員研修会負担金 16千円	事業費	28	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	28
2025年度 (当初予算額)	環境マネジメントシステム運用に係る経費 ・職員研修会負担金 16千円	事業費	16	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	16
2026年度 (計画額)	環境マネジメントシステム運用に係る経費 ・職員研修会負担金 16千円	事業費	16	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	16
2027年度 (計画額)	環境マネジメントシステム運用に係る経費 ・職員研修会負担金 16千円	事業費	16	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	16

活動指標	Suzuka-EMS運用所属数	単位	所属	事業費合計	76
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 0 一般財源 76
①見込値	166	164	166	166	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41103	基本施策 番号	411	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減

事業名	太陽光発電設備等設置費補助事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市民に対し、再生可能エネルギー設備の導入を支援し、脱炭素型のライフスタイルへの転換を促進する。				
事業概要	2030(令和12)年度における、鈴鹿市全体の温室効果ガス排出量を2013(平成25)年度比で50%削減する目標の達成につなげるため、太陽光発電設備単体又は太陽光発電設備及び蓄電池を設置した市民に対し、補助金を交付する。				

年度	事業説明	(千円)	
2024年度 (最終予算額)	太陽光発電設備及び蓄電池を設置した市民に対する設置費補助 ・補助金 12,439千円 ・印刷製本費(市民への周知) 118千円 【特財】(県補助金)三重県太陽光発電設備等設置費(個人向け)補助金 12,439千円	事業費	12,557
		財源内訳	特定財源 12,439
		一般財源	118
2025年度 (当初予算額)	太陽光発電設備及び蓄電池を設置した市民に対する設置費補助 ・補助金 8,231千円 ・印刷製本費(市民への周知) 74千円 【特財】三重県太陽光発電設備等設置費(個人向け)補助金 8,231千円	事業費	8,305
		財源内訳	特定財源 8,231
		一般財源	74
2026年度 (計画額)	太陽光発電設備及び蓄電池を設置した市民に対する設置費補助 ・補助金 8,231千円 ・印刷製本費(市民への周知) 74千円 【特財】三重県太陽光発電設備等設置費(個人向け)補助金 8,231千円	事業費	8,305
		財源内訳	特定財源 8,231
		一般財源	74
2027年度 (計画額)	太陽光発電設備及び蓄電池を設置した市民に対する設置費補助 ・補助金 8,231千円 ・印刷製本費(市民への周知) 74千円 【特財】三重県太陽光発電設備等設置費(個人向け)補助金 8,231千円	事業費	8,305
		財源内訳	特定財源 8,231
		一般財源	74

活動指標	太陽光発電設備の補助件数	単位	件	事業費合計	37,472
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	12	10	10	10	財源内訳 特定財源 37,132
②実績値					一般財源 340
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41104	基本施策 番号	411	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減

事業名	地域新電力会社運営事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	—			新規・継続区分	新規
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市、民間事業者が共同出資して設立した地域新電力会社を運営し、公共施設に再生可能エネルギーを利用して発電した電力を供給し、電気代を削減するとともに、カーボンニュートラル社会の実現を目指す。				
事業概要	<p>本市のカーボンニュートラル社会の実現に向け、パートナー事業者の東邦ガス株式会社、アーバンエナジー株式会社、株式会社三十三銀行と共同出資し設立した「鈴鹿グリーンエナジー株式会社」について、安定的な事業運営を図り、清掃センターの焼却熱から発電した電力や市内の太陽光発電施設で発電された電力を、本市が所有する一部公共施設に供給することで、エネルギー起源二酸化炭素の削減と各供給施設の電気代の削減を実現する。</p> <p>また、取締役会や株主総会、脱炭素化に向けたパートナー事業者との調整及び連携、ほかに、各供給施設の所管所属と、各施設における電気料金の調整や、国の政策変更や関係法令が改正された際の連携を行う。</p>				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	パートナー事業者との調整及び連携 ・取締役会(4回/年)、株主総会(1回/年) ・脱炭素化の方針等に関する連携 電力供給施設の所管所属との調整等 ・各施設における電気料金の調整 ・国の政策変更や関係法令改正時の各所属との連携	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	パートナー事業者との調整及び連携 ・取締役会(4回/年)、株主総会(1回/年) ・脱炭素化の方針等に関する連携 電力供給施設の所管所属との調整等 ・各施設における電気料金の調整 ・国の政策変更や関係法令改正時の各所属との連携	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	パートナー事業者との調整及び連携 ・取締役会(4回/年)、株主総会(1回/年) ・脱炭素化の方針等に関する連携 電力供給施設の所管所属との調整等 ・各施設における電気料金の調整 ・国の政策変更や関係法令改正時の各所属との連携	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2027年度 (計画額)	パートナー事業者との調整及び連携 ・取締役会(4回/年)、株主総会(1回/年) ・脱炭素化の方針等に関する連携 電力供給施設の所管所属との調整等 ・各施設における電気料金の調整 ・国の政策変更や関係法令改正時の各所属との連携	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0

活動指標	電力供給公共施設数	単位	施設	事業費合計	0
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 一般財源
①見込値	47	47	47	47	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41201	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	廃棄物対策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	不法投棄対策事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	不法投棄ゼロを目指して、不法投棄防止監視カメラの設置や地域におけるボランティア清掃を推進し、不法投棄発生の撲滅を目指す住民の意識向上に努める。				
事業概要	廃棄物の不適正処理に対する啓発、不法投棄の抑止対策、不法投棄ごみの処理委託を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・不法投棄禁止看板、木杭などの消耗品費 ・不法投棄の現地調査及び撤去やボランティア清掃活動支援に要する経費、まちかど美化推進事業の委託費 【特財】(諸収入)不法投棄未然防止事業協力助成金 346千円	事業費	27,797	
		財源内訳	特定財源	346
			一般財源	27,451
2025年度 (当初予算額)	・不法投棄禁止看板、木杭などの消耗品費 ・不法投棄の現地調査及び撤去やボランティア清掃活動支援に要する経費、まちかど美化推進事業の委託費 【特財】(諸収入)不法投棄未然防止事業協力助成金 432千円	事業費	28,207	
		財源内訳	特定財源	432
			一般財源	27,775
2026年度 (計画額)	・不法投棄禁止看板、木杭などの消耗品費 ・不法投棄の現地調査及び撤去やボランティア清掃活動支援に要する経費、まちかど美化推進事業の委託費 【特財】(諸収入)不法投棄未然防止事業協力助成金 312千円	事業費	26,871	
		財源内訳	特定財源	312
			一般財源	26,559
2027年度 (計画額)	・不法投棄禁止看板、木杭などの消耗品費 ・不法投棄の現地調査及び撤去やボランティア清掃活動支援に要する経費、まちかど美化推進事業の委託費 【特財】(諸収入)不法投棄未然防止事業協力助成金 307千円	事業費	26,407	
		財源内訳	特定財源	307
			一般財源	26,100

活動指標	不法投棄を防止するための啓発等の実施回数				単位	回	事業費合計	109,282	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度			財源内訳	特定財源	1,397
①見込値	12	12	12	12				一般財源	107,885
②実績値									
割合(②÷①)									

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41202	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	廃棄物対策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	ごみ減量推進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	「鈴鹿市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、環境教育や分別方法の情報提供など、各種啓発事業を通じて市民、事業者の意識向上を図り、更なるごみ減量を目指します。				
事業概要	「鈴鹿市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ排出量の抑制、減量化を目的とした各種の啓発事業の推進と、廃棄物減量等推進員を地域に設置する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・「ごみ収集カレンダー」や啓発パンフレット等の作成経費 ・廃棄物減量等推進員の活動推進経費 ・鈴鹿市の環境を考えるポスター展の運営経費 【特財】(諸収入)ごみ収集カレンダー広告掲載料 480千円	事業費	28,078	
		財源内訳	特定財源	480
			一般財源	27,598
2025年度 (当初予算額)	・「ごみ収集カレンダー」や啓発パンフレット等の作成経費 ・廃棄物減量等推進員の活動推進経費 ・鈴鹿市の環境を考えるポスター展の運営経費 【特財】(諸収入)ごみ収集カレンダー広告掲載料 600千円	事業費	28,745	
		財源内訳	特定財源	600
			一般財源	28,145
2026年度 (計画額)	・「ごみ収集カレンダー」や啓発パンフレット等の作成経費 ・廃棄物減量等推進員の活動推進経費 ・鈴鹿市の環境を考えるポスター展の運営経費 【特財】(諸収入)ごみ収集カレンダー広告掲載料 600千円	事業費	27,884	
		財源内訳	特定財源	600
			一般財源	27,284
2027年度 (計画額)	・「ごみ収集カレンダー」や啓発パンフレット等の作成経費 ・廃棄物減量等推進員の活動推進経費 ・鈴鹿市の環境を考えるポスター展の運営経費 【特財】(諸収入)ごみ収集カレンダー広告掲載料 600千円	事業費	27,884	
		財源内訳	特定財源	600
			一般財源	27,284

活動指標	ごみの減量化に関する年間啓発回数 (広報すずか「環境館」等)				単位	回	事業費合計	112,591	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度			財源内訳	特定財源	2,280
①見込値	2	2	2	2				一般財源	110,311
②実績値									
割合(②÷①)									

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41203	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	廃棄物対策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	ごみ資源化推進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	「鈴鹿市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、各種啓発事業を通じて市民の意識向上を図るとともに、市民、事業者、行政が協働してライフサイクル全体での資源循環の促進を目指します。				
事業概要	ごみの資源化の推進を目的として、法に基づく適正なリサイクルに取り組むとともに、市民の自主的な資源化の活動を啓発し、支援を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・広報すずか「環境館」掲載経費 ・資源ごみ回収活動の推進、生ごみ処理機等購入費の助成経費 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 171千円	事業費	5,951	
		財源内訳	特定財源	171
			一般財源	5,780
2025年度 (当初予算額)	・広報すずか「環境館」掲載経費 ・資源ごみ回収活動の推進、生ごみ処理機等購入費の助成経費	事業費	4,461	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	4,461
2026年度 (計画額)	・広報すずか「環境館」掲載経費 ・資源ごみ回収活動の推進、生ごみ処理機等購入費の助成経費	事業費	4,461	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	4,461
2027年度 (計画額)	・広報すずか「環境館」掲載経費 ・生ごみ処理機等購入費の助成経費	事業費	2,294	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	2,294

活動指標	ごみの資源化に関する年間啓発回数 (広報すずか「環境館」等)				単位	回	事業費合計	17,167	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度			財源内訳	特定財源	171
①見込値	2	2	2	2				一般財源	16,996
②実績値									
割合(②÷①)									

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41204	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	クリーンセンター施設整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				
事業の目的	し尿と浄化槽汚泥を安全に衛生的に処理し、市民が安心して生活できるよう環境を維持する。				
事業概要	老朽化が進む鈴鹿市クリーンセンターを改築し、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	鈴鹿市クリーンセンター施設整備・運営事業 令和6年度～令和23年度 令和6年度 設計・建設 366,058千円【債務負担行為 令和6年度～令和23年度】 設計・施工監理業務委託 21,362千円 補助金申請額(地域計画額) 399,058千円/3=133,019千円 【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金 133,019千円 (市債)クリーンセンター整備債 228,900千円(9/10) (繰入金)公共施設整備基金繰入金 25,000千円	事業費	387,572	
		財源内訳	特定財源	386,919
			一般財源	653
2025年度 (当初予算額)	鈴鹿市クリーンセンター施設整備・運営事業 令和6年度～令和23年度 令和7年度 設計・建設 902,000千円【債務負担行為 令和6年度～令和23年度】 設計・施工監理業務委託 34,259千円 【特財】(国庫支出金) 循環型社会形成推進交付金 195,054千円 (市債)クリーンセンター整備債 667,000千円(9/10) (繰入金)すずか応援基金繰入金 30,213千円	事業費	936,411	
		財源内訳	特定財源	892,267
			一般財源	44,144
2026年度 (計画額)	鈴鹿市クリーンセンター施設整備・運営事業 令和6年度～令和23年度 令和8年度 設計・建設 3,740,242千円【債務負担行為 令和6年度～令和23年度】 設計・施工監理業務委託 34,723千円 【特財】(国庫支出金) 循環型社会形成推進交付金 987,920千円 (市債)クリーンセンター整備債 2,508,000千円(9/10)	事業費	4,087,765	
		財源内訳	特定財源	3,495,920
			一般財源	591,845
2027年度 (計画額)	令和9年度 解体 1,330,988千円 設計・施工監理業務委託 18,601千円	事業費	1,349,889	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,349,889

活動指標	事業達成率	単位	%	事業費合計	6,761,637		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳		
①見込値	100	100	100	100		特定財源	4,775,106
②実績値						一般財源	1,986,531
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41205	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	地域整備開発事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	不燃物リサイクルセンターの安全・安心な施設整備を実施し、市民が安心して生活できるような環境を維持する。				
事業概要	一般廃棄物処理施設(不燃物リサイクルセンター、清掃センター)が立地する地域の『住環境整備』に関する経費及び一般的事務的経費であり、事業の実施により、地元住民の理解を得て、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げることを目的としている。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	一般事務的経費 ・職員旅費・事務用品等消耗品・公用車燃料費及び修繕費 ・破傷風予防接種 ・三重県公共工事設計積算システム経費・職員研修負担金 施設関連整備事業に係る経費 ・電気料金・郵便代 ・地元役員等協議会、委員会の開催経費 ・視察研修等委託料・施設関連整備事業補助金 ・自動車購入費	事業費	9,696	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	9,696
2025年度 (当初予算額)	一般事務的経費 ・職員旅費・事務用品等消耗品・公用車燃料費及び修繕費 ・破傷風予防接種 ・三重県公共工事設計積算システム経費・職員研修負担金 施設関連整備事業に係る経費 ・電気料金・郵便代 ・地元役員等協議会、委員会の開催経費 ・視察研修等委託料・施設関連整備事業補助金 ・自動車購入費	事業費	24,431	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	24,431
2026年度 (計画額)	一般事務的経費 ・職員旅費・事務用品等消耗品・公用車燃料費及び修繕費 ・破傷風予防接種 ・三重県公共工事設計積算システム経費・職員研修負担金 施設関連整備事業に係る経費 ・電気料金・郵便代 ・地元役員等協議会、委員会の開催経費 ・視察研修等委託料・施設関連整備事業補助金	事業費	10,232	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	10,232
2027年度 (計画額)	一般事務的経費 ・職員旅費・事務用品等消耗品・公用車燃料費及び修繕費 ・破傷風予防接種 ・三重県公共工事設計積算システム経費・職員研修負担金 施設関連整備事業に係る経費 ・電気料金・郵便代 ・地元役員等協議会、委員会の開催経費 ・視察研修等委託料・施設関連整備事業補助金	事業費	10,232	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	10,232

活動指標	施設関連整備事業の達成率	単位	%	事業費合計	54,591
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 0 一般財源 54,591
①見込値	100	100	100	100	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41206	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	清掃センター施設整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	新規	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				
事業の目的	清掃センターの安全・安心な施設整備を実施し、市民が安心して生活できるよう環境を維持する。				
事業概要	老朽化が進む鈴鹿市清掃センターを改築し、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	鈴鹿市清掃センターの整備に向けて、施設規模等の調査を行う。 ・鈴鹿市清掃センター調査委託料(13,310千円)	事業費	13,310	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	13,310
2025年度 (当初予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	事業方式の検討を行う ・PFI導入可能性調査委託料(11,000千円) 施設整備に向けての基本計画や基本設計を行う ・基本計画・設計委託料(49,500千円) 県環境影響評価条例対象事業のため環境影響評価の調査を行う ・環境影響評価委託料(55,000千円)	事業費	115,500	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	115,500
2027年度 (計画額)	事業者を選定するためのアドバイザー業務を委託する ・事業者選定委託料(27,500千円) 県環境影響評価条例対象事業のため環境影響評価の調査を行う ・環境影響評価委託料(55,000千円) 補助金申請額(地域計画額) 82,500千円/3 = 27,500千円 【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金 27,500千円	事業費	82,500	
		財源内訳	特定財源	27,500
			一般財源	55,000

活動指標	事業達成率	単位	%	事業費合計	211,310	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳	
①見込値	100	0	100	100		特定財源
②実績値					一般財源	183,810
割合(②÷①)						

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41207	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	道路新設改良事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	不燃物リサイクルセンターの安全・安心な施設整備を実施し、市民が安心して生活できるような環境を維持する。				
事業概要	一般廃棄物処理施設(鈴鹿市不燃物リサイクルセンター及び鈴鹿市清掃センター)の円滑な運営を継続するため、周辺地域の住環境整備に関する舗装工事を実施する。 なお、本事業の実施により、一般廃棄物処理施設周辺住民の理解を得て、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	道路改良事業に関する経費 ・設計委託料(475千円) ・測量委託料(1,330千円) ・道路改良工事費(32,965千円) 礒山バイパス取付道路事業に関する経費 ・道路新設改良工事費(51,950千円) ・給水工事費分担金(134千円) 【特財】(市債)道路新設改良事業債 58,400千円(9/10) (市債)道路新設改良事業債 14,900千円(7.5/10)	事業費	86,854	
		財源内訳	特定財源	73,300
			一般財源	13,554
2025年度 (当初予算額)	道路改良事業に関する経費 ・測量委託料(1,800千円) ・道路改良工事費(25,500千円) 礒山バイパス取付道路事業に関する経費 ・道路新設改良工事費(18,000千円) 【特財】(市債)道路新設改良事業債 39,100千円(9/10)	事業費	45,300	
		財源内訳	特定財源	39,100
			一般財源	6,200
2026年度 (計画額)	道路改良事業に関する経費 ・測量委託料(1,235千円) ・道路改良工事費(41,800千円) 【特財】(市債)道路新設改良事業債 37,600千円(9/10)	事業費	43,035	
		財源内訳	特定財源	37,600
			一般財源	5,435
2027年度 (計画額)	道路改良事業に関する経費 ・測量委託料(1,235千円) ・道路改良工事費(37,050千円) 【特財】(市債)道路新設改良事業債 33,300千円(9/10)	事業費	38,285	
		財源内訳	特定財源	33,300
			一般財源	4,985

活動指標	整備率	単位	%	事業費合計	213,474
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	100	100	100	100	財源内訳 特定財源 183,300
②実績値					一般財源 30,174
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41208	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	舗装事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	一般廃棄物処理施設の安全・安心な維持管理を継続していくため、地元住民との良好な関係を目指し、地域の道路舗装事業を推進する。				
事業概要	一般廃棄物処理施設(鈴鹿市不燃物リサイクルセンター及び鈴鹿市清掃センター)の円滑な運営を継続するため、周辺地域の住環境整備に関する舗装工事を実施する。 なお、本事業の実施により、一般廃棄物処理施設周辺住民の理解を得て、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	道路舗装事業に関する経費 ・道路舗装工事費(6,650千円)	事業費	6,650	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	6,650
2025年度 (当初予算額)	道路舗装事業に関する経費 ・道路舗装工事費(5,500千円)	事業費	5,500	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	5,500
2026年度 (計画額)	道路舗装事業に関する経費 ・道路舗装工事費(11,780千円)	事業費	11,780	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	11,780
2027年度 (計画額)	道路舗装事業に関する経費 ・道路舗装工事費(12,920千円)	事業費	12,920	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	12,920

活動指標	整備率	単位	%	事業費合計	36,850		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳	特定財源	0
①見込値	100	100	100	100		一般財源	36,850
②実績値							
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41209	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。				
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理				

事業名	水路新設改良事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	一般廃棄物処理施設の安全・安心な維持管理を継続していくため、地元住民との良好な関係を目指し、地域の排水路改良事業を推進する。				
事業概要	一般廃棄物処理施設(鈴鹿市不燃物リサイクルセンター及び鈴鹿市清掃センター)の円滑な運営を継続するため、周辺地域の住環境整備に関する舗装工事を実施する。 なお、本事業の実施により、一般廃棄物処理施設周辺住民の理解を得て、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	排水路改良事業に関する経費 ・工事費(1,200千円)	事業費	1,200	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,200
2027年度 (計画額)	排水路改良事業に関する経費 ・工事費(1,200千円)	事業費	1,200	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,200

活動指標	整備率	単位	%	事業費合計	2,400		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳		
①見込値	0	0	100	100		特定財源	0
②実績値						一般財源	2,400
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41210	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	河川整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	一般廃棄物処理施設の安全・安心な維持管理を継続していくため、地元住民との良好な関係を目指し、地域の河川改良事業を推進する。				
事業概要	鈴鹿市清掃センターが立地する天名地区の『住環境整備』の一環として、周辺地域の住環境整備に関する河川改良工事を実施する。 なお、本事業の実施により、一般廃棄物処理施設周辺住民の理解を得て、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	堀切川改良事業に関する経費 ・河川改良工事費(38,000千円) 【特財】(市債)河川改良事業債 34,200千円(9/10)	事業費	38,000	
		財源内訳	特定財源	34,200
			一般財源	3,800
2025年度 (当初予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	堀切川改良事業に関する経費 ・河川改良工事費(18,000千円) 【特財】(市債)河川改良事業債 16,200千円(9/10)	事業費	18,000	
		財源内訳	特定財源	16,200
			一般財源	1,800
2027年度 (計画額)	堀切川改良事業に関する経費 ・河川改良工事費(48,000千円) 【特財】(市債)河川改良事業債 43,200千円(9/10)	事業費	48,000	
		財源内訳	特定財源	43,200
			一般財源	4,800

活動指標	整備率	単位	%	事業費合計	104,000		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳		
①見込値	100	0	100	100		特定財源	93,600
②実績値						一般財源	10,400
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41211	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	開発整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。				
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理				

事業名	不燃物リサイクルセンター整備事業				
事業計画期間	事業開始	2025年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	新規	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				

事業の目的	不燃物リサイクルセンターの安全・安心な施設整備を実施し、市民が安心して生活できるような環境を維持する。				
-------	---	--	--	--	--

事業概要	老朽化が進む鈴鹿市リサイクルセンターを改築し、円滑で安定した施設の稼働と運営、さらには効率的な廃棄物の処理及び資源の再利用に繋げる。				
------	--	--	--	--	--

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	不燃物リサイクルセンターの基本構想策定に要する経費 ・基本構想策定委託料(10,450千円) 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 4,246千円	事業費	10,450	
		財源内訳	特定財源	4,246
			一般財源	6,204
2026年度 (計画額)	基幹改良に於ける、運転管理委託更新等の検討を行う ・運転管理委託更新等検討委託料(17,100千円) 交付金のために新しい地域計画を策定する ・地域計画策定委託料(5,300千円)	事業費	22,400	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	22,400
2027年度 (計画額)	事業者を選定するためのアドバイザー業務を委託する ・事業者選定委託料(16,400千円) 補助金申請額(地域計画額)16,400千円/3=5,466千円 【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金 5,466千円	事業費	16,400	
		財源内訳	特定財源	5,466
			一般財源	10,934

活動指標	事業達成率	単位	%	事業費合計	49,250
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 9,712 一般財源 39,538
①見込値	0	100	100	100	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41212	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	環境施設課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	周辺環境美化事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	施設の機能的及び衛生的な環境維持と施設周辺的美観維持のため、事業用地とその周辺のパトロールにて樹木伐採が必要な区域及び設備補修を要する部分の選定と、不法投棄の発見を行い、樹木伐採及び設備補修、並びに不法投棄処理を行う。				
事業概要	不燃物リサイクルセンター事業用地及び事業用地周辺の環境美化と環境整備に関する経費であり、事業の実施によって、事業用地等への不法投棄防止、地域の安全確保、環境保全、環境美化に繋げる。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	不燃物リサイクルセンター事業用地及び事業用地周辺の環境の美化と整備に要する経費 ・事業用地周辺清掃業務委託 540千円 ・事業用地内伐採業務委託 270千円 ・事業用地周辺有害物質分析業務委託 974千円 ・事業用地周辺廃棄物処理業務委託 20,810千円 ・事業用地外周フェンス修繕工事 300千円	事業費	22,894	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	22,894
2025年度 (当初予算額)	不燃物リサイクルセンター事業用地及び事業用地周辺の環境の美化と整備に要する経費 ・事業用地周辺清掃業務委託 300千円 ・事業用地内伐採業務委託 300千円 ・事業用地外周フェンス修繕工事 300千円	事業費	900	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	900
2026年度 (計画額)	不燃物リサイクルセンター事業用地及び事業用地周辺の環境の美化と整備に要する経費 ・事業用地周辺清掃業務委託 300千円 ・事業用地内伐採業務委託 300千円 ・事業用地外周フェンス修繕工事 300千円	事業費	900	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	900
2027年度 (計画額)	不燃物リサイクルセンター事業用地及び事業用地周辺の環境の美化と整備に要する経費 ・事業用地周辺清掃業務委託 300千円 ・事業用地内伐採業務委託 300千円 ・事業用地外周フェンス修繕工事 300千円	事業費	900	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	900

活動指標	施設内及び周辺地域の年間パトロール回数	単位	回	事業費合計	25,594
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 0 一般財源 25,594
①見込値	200	200	200	200	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41213	基本施策 番号	412	部局名	環境部
				所属名	環境施設課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。
基本施策	廃棄物の減量化・リサイクルと効率的な処理

事業名	事業用地整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	新規	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				
事業の目的	不燃物リサイクルセンター事業用地を確保し、安定的な施設運営を行う。				
事業概要	一般廃棄物最終処分場内の用地を買収することにより、事業用地の整備を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	一般廃棄物最終処分場整備事業に係る用地の取得費用 ・土地購入費 12,388千円	事業費	12,388	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	12,388
2025年度 (当初予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2027年度 (計画額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0

活動指標	土地買取件数	単位	件	事業費合計	12,388
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	2	0	0	0	特定財源 0
②実績値					一般財源 12,388
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	41301	基本施策 番号	413	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	カーボンニュートラル社会と循環型社会に向けた取組が進められている。				
基本施策	食品ロスの削減による資源循環の推進				

事業名	食品ロス削減推進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市民等に対し、市と事業者が協働して食品ロス削減のための啓発活動を行うとともに、市民が食品ロスを削減できる取組を実施することで、脱炭素型のライフスタイルへの転換を図る。				
事業概要	食品ロス削減啓発事業を市民と事業者と協働して推進していく。また、市民から家庭で使い切れない未使用食品や食材を市へ寄附してもらい、社会福祉協議会など、食材を必要としている団体に届けるフードドライブ推進事業を実施することで、脱炭素型のライフスタイルへの転換を促進させる。				

年度	事業説明	(千円)	
2024年度 (最終予算額)	食品ロス削減啓発事業に係る経費 ・モニター調査協力者謝礼(ギフトカード) 164千円 ・職員全国大会参加旅費 80千円 ・消耗品費、印刷製本費、郵便料 749千円 フードドライブ推進事業に係る経費 ・食材等寄附者謝礼(ギフトカード)120千円 ・消耗品費、印刷製本費、広報折込料 384千円 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 43千円	事業費	1,497
		財源内訳 特定財源	43
		財源内訳 一般財源	1,454
2025年度 (当初予算額)	食品ロス削減啓発事業に係る経費 ・モニター調査協力者謝礼(ギフトカード) 31千円 ・印刷製本費、郵便料 232千円 フードドライブ推進事業に係る経費 ・食材等寄附者謝礼(ギフトカード) 120千円 ・消耗品費 10千円	事業費	393
		財源内訳 特定財源	0
		財源内訳 一般財源	393
2026年度 (計画額)	食品ロス削減啓発事業に係る経費 ・印刷製本費、郵便料 187千円 フードドライブ推進事業に係る経費 ・食材等寄附者謝礼(ギフトカード)120千円 ・消耗品費 10千円	事業費	317
		財源内訳 特定財源	0
		財源内訳 一般財源	317
2027年度 (計画額)	食品ロス削減啓発事業に係る経費 ・印刷製本費、郵便料 187千円 フードドライブ推進事業に係る経費 ・食材等寄附者謝礼(ギフトカード)120千円 ・消耗品費 10千円	事業費	317
		財源内訳 特定財源	0
		財源内訳 一般財源	317

活動指標	食品ロス削減モニター参加者数	単位	人	事業費合計	2,524
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	327	61	0	0	財源内訳 特定財源 43
②実績値					財源内訳 一般財源 2,481
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	42101	基本施策 番号	421	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	豊かな自然と生活環境が保全されている
基本施策	自然環境と生物多様性の保全

事業名	自然環境保全事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				

事業の目的	里山保全活動による人材育成や自然観察会の取組により、豊かな自然環境の保全を図る。また、外来生物等の侵入から在来の動植物の育成・生息環境を保全し、生物多様性の確保を図る。
-------	--

事業概要	自然環境の保全、生物多様性の保全等に関連する事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全基礎講座 里山保全に必要な知識・技術を学び、里山保全を実践する人材を育成する講座を開講 ・里山保全体験 市民が森林や里山にふれる機会を提供し、里山保全への興味を持ってもらうことを目的とした体験活動の開催 ・自然観察会 専門家等との連携により市民を対象とした観察会の開催 ・特定外来生物 在来種の生態に悪影響を及ぼすことが危惧される特定外来生物等の情報提供等

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・里山保全基礎講座(5回)、里山保全体験(3回)、自然観察会(5回)開催にかかる講師謝礼や広報などの事務経費 ・里山保全基礎講座や里山保全体験、自然観察会の参加者への傷害保険加入にかかる保険料 【特財】(諸収入)「鈴鹿市の自然」売払収入 15千円 (諸収入)「鈴鹿市の自然ガイドブック」売払収入 5千円 (県補助)みえ森と緑の県民税市町交付金 300千円	事業費	444	
		財源内訳	特定財源	320
		一般財源	124	
2025年度 (当初予算額)	・里山保全基礎講座(5回)、里山保全体験(3回)、自然観察会(5回)開催にかかる講師謝礼や広報などの事務経費 ・里山保全基礎講座や里山保全体験、自然観察会の参加者への傷害保険加入にかかる保険料 【特財】(諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然」売払収入 15千円 (諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然ガイドブック」売払収入 5千円 (県支出金)みえ森と緑の県民税市町交付金 375千円	事業費	437	
		財源内訳	特定財源	395
		一般財源	42	
2026年度 (計画額)	・里山保全基礎講座(5回)、里山保全体験(3回)、自然観察会(5回)開催にかかる講師謝礼や広報などの事務経費 ・里山保全基礎講座や里山保全体験、自然観察会の参加者への傷害保険加入にかかる保険料 【特財】(諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然」売払収入 15千円 (諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然ガイドブック」売払収入 5千円 (県支出金)みえ森と緑の県民税市町交付金 375千円	事業費	437	
		財源内訳	特定財源	395
		一般財源	42	
2027年度 (計画額)	・里山保全基礎講座(5回)、里山保全体験(3回)、自然観察会(5回)開催にかかる講師謝礼や広報などの事務経費 ・里山保全基礎講座や里山保全体験、自然観察会の参加者への傷害保険加入にかかる保険料 【特財】(諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然」売払収入 15千円 (諸収入)狂犬病予防注射代等/「鈴鹿市の自然ガイドブック」売払収入 5千円 (県支出金)みえ森と緑の県民税市町交付金 375千円	事業費	437	
		財源内訳	特定財源	395
		一般財源	42	

活動指標	開催回数	単位	回	事業費合計	1,755
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	13	13	13	13	特定財源 1,505
②実績値					一般財源 250
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	42201	基本施策 番号	422	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	豊かな自然と生活環境が保全されている。
基本施策	生活環境の保全と暮らしやすい環境づくり

事業名	畜犬等対策事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	犬猫の糞害防止ポスターを配付し啓発することで、飼主のマナー向上・環境美化を図る。動物愛護の精神に基づき、犬猫の避妊等手術費用の一部を助成することにより、捨犬・捨猫を抑制し、良好な生活環境を保持する。				
事業概要	飼主のマナー向上及び環境美化を目的として、犬猫糞害防止ポスターを作成し、希望する自治会に配付する。 動物愛護の精神に基づき、捨犬・捨猫を抑制し、市民の良好な生活環境を保つため、飼犬・飼猫・飼主のいない猫の去勢・避妊手術費の一部を助成する。助成額は手術費の約1割程度とする。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・犬猫糞害防止ポスター・チラシ等による啓発 ・犬猫避妊等手術費助成金(犬猫の飼主及び繁殖の抑制を目的に猫を保護し手術を受けさせた個人やボランティア団体に対し、手術費の一部を予算の範囲内で助成) 助成金額 犬 オス 1,500円、メス 3,000円 猫 オス 1,500円、メス 2,000円 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 56千円	事業費	1,959	
		財源内訳	特定財源	56
		一般財源	1,903	
2025年度 (当初予算額)	・犬猫糞害防止ポスターによる啓発 ・犬猫避妊等手術費助成金(犬猫の飼主及び繁殖の抑制を目的に猫を保護し手術を受けさせた個人やボランティア団体に対し、手術費の一部を予算の範囲内で助成) 助成金額 犬 オス 1,500円、メス 3,000円 猫 オス 1,500円、メス 2,000円	事業費	1,932	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,932	
2026年度 (計画額)	・犬猫糞害防止ポスターによる啓発 ・犬猫避妊等手術費助成金(犬猫の飼主及び繁殖の抑制を目的に猫を保護し手術を受けさせた個人やボランティア団体に対し、手術費の一部を予算の範囲内で助成) 助成金額 犬 オス 1,500円、メス 3,000円 猫 オス 1,500円、メス 2,000円	事業費	1,932	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,932	
2027年度 (計画額)	・犬猫糞害防止ポスターによる啓発 ・犬猫避妊等手術費助成金(犬猫の飼主及び繁殖の抑制を目的に猫を保護し手術を受けさせた個人やボランティア団体に対し、手術費の一部を予算の範囲内で助成) 助成金額 犬 オス 1,500円、メス 3,000円 猫 オス 1,500円、メス 2,000円	事業費	1,932	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,932	

活動指標	犬猫避妊等手術助成件数	単位	件	事業費合計	7,755
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	993	993	993	993	特定財源 56
②実績値					一般財源 7,699
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	42202	基本施策 番号	422	部局名	環境部
				所属名	環境政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	豊かな自然と生活環境が保全されている。
基本施策	生活環境の保全と暮らしやすい環境づくり

事業名	斎苑施設整備事業				
事業計画期間	事業開始	2025年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				
事業の目的	昭和60年に建築してから約40年が経過し、火葬炉も躯体も老朽化していることに加え、高齢化により火葬の件数が増加していることから、高齢化に適応した運営ができるよう整備する。				
事業概要	<p>「公共施設等総合管理計画」の基本方針で、「鈴鹿市斎苑施設整備事業基本構想」に基づき改築を施設の方向性とし、令和10年度以降に改築を計画している。</p> <p>令和7年度には、PFI導入可能性調査を行い、事業手法を決定する。また、基本計画を策定し、具体的な内容を決定する。</p> <p>令和8～9年度には適切な手順で円滑に事業を進めるため、鈴鹿市斎苑事業者選定支援アドバイザー等業務委託をする。</p>				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	基本計画策定及びPFI導入可能性調査 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 7,517千円	事業費	18,500	
		財源内訳	特定財源	7,517
			一般財源	10,983
2026年度 (計画額)	鈴鹿市斎苑事業者選定支援アドバイザー等業務委託	事業費	30,000	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	30,000
2027年度 (計画額)	鈴鹿市斎苑事業者選定支援アドバイザー等業務委託	事業費	40,000	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	40,000

活動指標	進捗率	単位	%	事業費合計	88,500		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳		
①見込値	0	100	100	100		特定財源	7,517
②実績値						一般財源	80,983
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43101	基本施策 番号	431	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	社会情勢の変化に対応した適正な土地利用の推進

事業名	立地適正化計画策定事業				
事業計画期間	事業開始	2025年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	新規	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	人口減少社会に適応した都市構造に変化していくため、人口密度の維持を目的として、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図る立地適正化計画を策定する。				
事業概要	立地適正化計画には、土地利用の状況を分析し、将来人口推計に適応した都市構造にするための、居住誘導区域や都市機能誘導区域を定める。 計画策定においては、建設コンサルタントに業務委託を行い、専門的な知識を活用しながら作業を進め、設定区域を検討する段階や計画をまとめる段階においては、鈴鹿市都市計画審議会の意見を反映させながら策定する。				

年度	事業説明	(千円)	
2024年度 (最終予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0
		財源内訳	
		特定財源	0
2025年度 (当初予算額)	鈴鹿市立地適正化計画策定業務委託 【内容】 立地適正化計画を策定するための、土地利用に関するデータの収集及び分析、並びに課題解消のための方針作成。 【特財】(国庫支出金)社会資本整備総合交付金 2,865千円 (手数料)開発行為許可申請等手数料 2,347千円	事業費	5,730
		財源内訳	
		特定財源	5,212
2026年度 (計画額)	鈴鹿市立地適正化計画策定業務委託その2 【内容】 策定方針に基づき立地適正化計画を作成。 債務負担行為(令和8、9年) 【特財】(国庫支出金)社会資本整備総合交付金 3,750千円 (手数料)開発行為許可申請等手数料 2,000千円	事業費	7,500
		財源内訳	
		特定財源	5,750
2027年度 (計画額)	鈴鹿市立地適正化計画策定業務委託その2 【内容】 策定方針に基づき立地適正化計画を作成。 債務負担行為(令和8、9年) 【特財】(国庫支出金)社会資本整備総合交付金 5,750千円 (手数料)開発行為許可申請等手数料 2,000千円	事業費	11,500
		財源内訳	
		特定財源	7,750
		一般財源	3,750

活動指標	鈴鹿市都市計画審議会の開催				単位	回	事業費合計	24,730
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度				
①見込値	0	1	1	1			特定財源	18,712
②実績値							一般財源	6,018
割合(②÷①)								

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43201	基本施策 番号	432	部局名	都市整備部
				所属名	公共施設政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。				
基本施策	公共施設マネジメントの推進				

事業名	公共施設マネジメント推進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	鈴鹿市公共施設等総合管理計画及び鈴鹿市公共建築物個別施設計画を推進することにより、必要な行政サービスを維持しながら、施設保有量の縮減を目指す。				
事業概要	<p>○「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」及び「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」の推進 「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」の基本的な考え方や目標を踏まえながら、公共施設等の管理を一元化する。 また、各施設の改修等基本的な方針や、施設ごとの方向性、対策方法とその時期等についてとりまとめ策定した「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」を推進する。</p>				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	○鈴鹿市公共施設等総合管理計画及び鈴鹿市公共建築物個別施設計画の推進に係る事務経費(ソフトウェア等ライセンス利用料、消耗品費等)	事業費	689	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	689
2025年度 (当初予算額)	○鈴鹿市公共施設等総合管理計画及び鈴鹿市公共建築物個別施設計画の推進に係る事務経費(ソフトウェア等ライセンス利用料、消耗品費等)	事業費	384	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	384
2026年度 (計画額)	○鈴鹿市公共施設等総合管理計画及び鈴鹿市公共建築物個別施設計画の推進 ・事務経費(ソフトウェア等ライセンス利用料、消耗品費等) 384千円 ・鈴鹿市公共建築物個別施設計画改定支援業務委託料 9,400千円	事業費	9,784	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	9,784
2027年度 (計画額)	○鈴鹿市公共施設等総合管理計画及び鈴鹿市公共建築物個別施設計画の推進 ・事務経費(ソフトウェア等ライセンス利用料、消耗品費等) 384千円 ・鈴鹿市公共建築物個別施設計画改定支援業務委託料 9,400千円	事業費	9,784	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	9,784

活動指標	公共施設マネジメントの取組推進のための会議等の実施回数				単位	回	事業費合計	20,641
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳	特定財源	0	
①見込値	3	3	10	10		一般財源	20,641	
②実績値								
割合(②÷①)								

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43301	基本施策 番号	433	部局名	都市整備部
				所属名	市街地整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	公園緑地の適正な整備・保全

事業名	公園施設長寿命化施設整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の老朽化に対する安全対策及び延命対策のため、老朽化施設の計画的・効率的な改築・更新を行い、投資予算の平準化に繋げる。				
事業概要	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化施設の計画的・効率的な改築・更新を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・市内公園の老朽化遊戯施設更新、園路施設改修等 59,300千円 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/公園施設長寿命化 29,650千円 (1/2) (地方債)公園事業債/公園施設整備(工事費が対象) 23,800千円(4.5/10) (その他)企業版ふるさと納税寄附金 3,600千円 ・市内公園の老朽化管理施設更新、休憩施設改修等 30,000千円 公共施設等適正管理推進事業債対象 【特財】(地方債)公園事業債/公園施設整備 27,000千円(9/10)	事業費	89,300	
		財源内訳	特定財源	84,050
		一般財源	5,250	
2025年度 (当初予算額)	・市内公園の老朽化遊戯施設更新、園路施設改修等 62,000千円 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/公園施設長寿命化 31,000千円 (1/2) (地方債)公園事業債/公園施設整備(工事費が対象) 27,900千円(4.5/10) ・市内公園の老朽化管理施設更新、休憩施設改修等 25,000千円 公共施設等適正管理推進事業債対象 【特財】(地方債)公園事業債/公園施設整備 22,500千円(9/10)	事業費	87,000	
		財源内訳	特定財源	81,400
		一般財源	5,600	
2026年度 (計画額)	・市内公園の老朽化遊戯施設更新、園路施設改修等 工事 改築・更新 70,000千円 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/公園施設長寿命化 35,000千円 (1/2) (地方債)公園事業債/公園施設整備(工事費が対象) 31,500千円(4.5/10) ・市内公園の老朽化管理施設更新、休憩施設改修等 工事 改築・更新 30,000千円 公共施設等適正管理推進事業債対象 【特財】(地方債)公園事業債/公園施設整備 27,000千円(9/10)	事業費	100,000	
		財源内訳	特定財源	93,500
		一般財源	6,500	
2027年度 (計画額)	・市内公園の老朽化遊戯施設更新、園路施設改修等 工事 改築・更新 70,000千円 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/公園施設長寿命化 35,000千円 (1/2) (地方債)公園事業債/公園施設整備(工事費が対象) 31,500千円(4.5/10) ・市内公園の老朽化管理施設更新、休憩施設改修等 工事 改築・更新 30,000千円 公共施設等適正管理推進事業債対象 【特財】(地方債)公園事業債/公園施設整備 27,000千円(9/10)	事業費	100,000	
		財源内訳	特定財源	93,500
		一般財源	6,500	

活動指標	施設更新箇所数	単位	箇所	事業費合計	376,300
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	21	17	17	17	特定財源 352,450
②実績値					一般財源 23,850
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43302	基本施策 番号	433	部局名	都市整備部
				所属名	市街地整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	公園緑地の適正な整備・保全

事業名	公園施設整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	公園の利用状況や地域の特性等を考慮した効果的な公園整備により、都市公園の質及び公園利用者の利便性のさらなる向上を図り、公園の魅力を高め、市民の憩いの場を提供する。				
事業概要	都市公園施設の整備拡充を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	<ul style="list-style-type: none"> 八反田2号公園ほかの施設整備工事 5,000千円 鈴鹿市防災公園(桜の森公園)の整備事業の用地費一般財源相当額立替金償還金 独立行政法人 都市再生機構(UR)へ償還 5,066千円 償還期間: 令和2年度～令和16年度 	事業費	10,066	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	10,066	
2025年度 (当初予算額)	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備工事 5,000千円 鈴鹿市防災公園(桜の森公園)の整備事業の用地費一般財源相当額立替金償還金 独立行政法人 都市再生機構(UR)へ償還 5,066千円 償還期間: 令和2年度～令和16年度 学官連携による施設整備(設計)(桜の森公園)8,800千円 【特財】(繰入金)企業版ふるさと納税基金繰入金 8,800千円 	事業費	18,866	
		財源内訳	特定財源	8,800
		一般財源	10,066	
2026年度 (計画額)	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備工事 5,000千円 鈴鹿市防災公園(桜の森公園)の整備事業の用地費一般財源相当額立替金償還金 独立行政法人 都市再生機構(UR)へ償還 5,066千円(償還期間: 令和2～16年度) 官民連携賑わい拠点創出事業 50,000千円 学官連携による施設整備(建築)(桜の森公園)132,000千円 【特財】(国庫支出金)社総金 官民連携賑わい拠点創出事業 25,000千円(1/2) 【特財】(国庫支出金)新しい地方経済・生活環境創生交付金 66,000千円(1/2) 【特財】(繰入金)企業版ふるさと納税基金繰入金 1,300千円 	事業費	192,066	
		財源内訳	特定財源	92,300
		一般財源	99,766	
2027年度 (計画額)	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備工事 5,000千円 鈴鹿市防災公園(桜の森公園)の整備事業の用地費一般財源相当額立替金償還金 独立行政法人 都市再生機構(UR)へ償還 5,066千円 償還期間: 令和2年度～令和16年度 	事業費	10,066	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	10,066	

活動指標	公園施設の新設及び更新件数	単位	件	事業費合計	231,064
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	6	2	2	3	特定財源 101,100
②実績値					一般財源 129,964
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43303	基本施策 番号	433	部局名	都市整備部
				所属名	市街地整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	公園緑地の適正な整備・保全

事業名	枝葉木粉碎(チップ化)事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	公園・緑地の樹木剪定・伐採によって発生する枝葉木を粉碎・チップ化し、堆肥にすることにより再資源化を図り、また、作成された堆肥を公的機関の施設や市民に配布することにより、SDGs(12つくる責任 つかう責任)達成へ貢献し、その大切さを啓発する。				
事業概要	公園・緑地の樹木伐採等により発生した枝葉木を粉碎・チップ化し、再資源化を図る。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・公園や緑地の樹木剪定・伐採によって発生する枝葉木を粉碎し、チップ化する。 ・3～5年間熟成(腐葉土化)し、堆肥となったものを公的機関の施設や市民への配布を行う。 ・チップ化するための樹木粉碎機を購入し、粉碎作業を行う。 【特財】(県支出金)みえ森と緑の県民税市町交付金 3,150千円	事業費	4,050	
		財源内訳	特定財源	3,150
		一般財源	900	
2025年度 (当初予算額)	・公園や緑地の樹木剪定・伐採によって発生する枝葉木を粉碎し、チップ化する。 ・3～5年間熟成(腐葉土化)し、堆肥となったものを公的機関の施設や市民への配布を行う。	事業費	1,185	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,185	
2026年度 (計画額)	・公園や緑地の樹木剪定・伐採によって発生する枝葉木を粉碎し、チップ化する。 ・3～5年間熟成(腐葉土化)し、堆肥となったものを公的機関の施設や市民への配布を行う。	事業費	1,300	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,300	
2027年度 (計画額)	・公園や緑地の樹木剪定・伐採によって発生する枝葉木を粉碎し、チップ化する。 ・3～5年間熟成(腐葉土化)し、堆肥となったものを公的機関の施設や市民への配布を行う。	事業費	1,300	
		財源内訳	特定財源	0
		一般財源	1,300	

活動指標	枝葉木のチップ量	単位	立米	事業費合計	7,835
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	65	65	65	65	特定財源 3,150
②実績値					一般財源 4,685
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43401	基本施策 番号	434	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	利便性の高い地域公共交通の構築

事業名	新交通システム運行事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	移動課題のある地域に対して新たな移動手段の導入支援を行い、多様な移動ニーズに対応した地域公共交通を確保する。				
事業概要	移動課題の解決のため、地域が主体となった新たな交通サービスの導入を推進する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	デマンド型交通の運行計画の策定、実証運行、評価・検証等を行う。 1 デマンド型交通実証運行支援業務委託 22,990千円 2 消耗品等 719千円 【特財】(繰入金)すずか応援基金繰入金 20,227千円	事業費	23,709	
		財源内訳	特定財源	23,709
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	デマンド型交通について、鈴鹿市地域公共交通会議において評価・検証	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	新たな移動手段の実証運行 8,000千円×4台	事業費	32,000	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	32,000
2027年度 (計画額)	・新たな移動手段の実証運行 8,000千円×1台 ・新たな移動手段の本格運行に対する財政支援 6,000千円×3台	事業費	26,000	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	26,000

活動指標	移動手段の導入について検討した地域づくり協議会の数	単位	団体	事業費合計	81,709
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	3	3	4	4	財源内訳 特定財源 23,709
②実績値					一般財源 58,000
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43402	基本施策 番号	434	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	利便性の高い地域公共交通の構築

事業名	西部地域C-BUS運行事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市街地から遠方に位置し、民間路線バスが廃止となり公共交通機関の利用が不便となった西部地域において、学生や高齢者など自ら広域の移動が困難である方の日常生活を支える移動手段を確保するために、コミュニティバス(C-BUS)を運行する。				
事業概要	西部地域においてコミュニティバス(C-BUS)を2路線運行 ①椿地区と近鉄平田町駅周辺地域を結ぶ「椿・平田線」を1日あたり26便運行 ②庄内地区と近鉄鈴鹿駅周辺地域を結ぶ「庄内・神戸線」を1日あたり15便運行				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	○西部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両7台、運転手8人、予定走行距離455,051.6km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 西部地域C-BUS運行事業分 22,781千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	98,261	
		財源内訳	特定財源	24,086
			一般財源	74,175
2025年度 (当初予算額)	○西部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両7台、運転手8人、予定走行距離459,049.0km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し ○バス・ロケーションシステムの導入 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 西部地域C-BUS運行事業分 23,989千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,187千円	事業費	101,396	
		財源内訳	特定財源	25,176
			一般財源	76,220
2026年度 (計画額)	○西部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両7台、運転手8人、予定走行距離455,051.6km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 西部地域C-BUS運行事業分 22,781千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	101,284	
		財源内訳	特定財源	25,176
			一般財源	76,108
2027年度 (計画額)	○西部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両7台、運転手8人、予定走行距離455,051.6km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 西部地域C-BUS運行事業分 22,781千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	101,284	
		財源内訳	特定財源	25,176
			一般財源	76,108

活動指標	年間運行便数	単位	便	事業費合計	402,225
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	15006	15006	15006	15047	特定財源 99,614
②実績値					一般財源 302,611
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43403	基本施策 番号	434	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	利便性の高い地域公共交通の構築

事業名	南部地域C-BUS運行事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	市街地から遠方に位置し、民間路線バスが廃止となり公共交通機関の利用が不便となった南部地域において、学生や高齢者など自ら広域の移動が困難である方の日常生活を支える移動手段を確保するために、コミュニティバス(C-BUS)を運行する。				
事業概要	南部地域においてコミュニティバス(C-BUS)を2路線運行 ①白子地区と近鉄平田町駅周辺地域を結ぶ「白子・平田線」を1日あたり23便運行(土日 祝21便) ②栄地区と近鉄平田町駅周辺地域を結ぶ「太陽の街・平田線」を1日あたり7便運行				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	○南部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両4台、運転手7人、予定走行距離302,359.9km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 南部地域C-BUS運行事業分 11,034千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	91,804	
		財源内訳	特定財源	12,779
		一般財源	79,025	
2025年度 (当初予算額)	○南部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両4台、運転手7人、予定走行距離309,203.6km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し ○バス・ロケーションシステムの導入 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 南部地域C-BUS運行事業分 11,097千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,187千円	事業費	87,799	
		財源内訳	特定財源	12,284
		一般財源	75,515	
2026年度 (計画額)	○南部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両4台、運転手7人、予定走行距離302,359.9km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 南部地域C-BUS運行事業分 11,034千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	86,394	
		財源内訳	特定財源	12,284
		一般財源	74,110	
2027年度 (計画額)	○南部地域C-BUSの運行に必要となる運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両4台、運転手7人、予定走行距離302,359.9km/年) ○C-BUSの安全運行に必要となる迂回運転の実施やバス停の休止 ○C-BUSに関する情報発信や利用者への周知 ○道路運送法等の関係法令に基づく運行計画の見直し 【特財】(諸収入)C-BUS運行精算金 南部地域C-BUS運行事業分 11,034千円 (諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,305千円	事業費	86,394	
		財源内訳	特定財源	12,284
		一般財源	74,110	

活動指標	年間運行便数	単位	便	事業費合計	352,391	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度		
①見込値	10738	10738	10738	10768	財源内訳	
②実績値					特定財源	49,631
割合(②÷①)					一般財源	302,760

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43404	基本施策 番号	434	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	利便性の高い地域公共交通の構築

事業名	廃止代替バス路線運行委託事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	本市と亀山市を結ぶ民間路線バスが廃線となったことを受け、亀山市と協調し、地域住民の日常生活を支える移動手段を確保するために、廃止代替バスを運行する。				
事業概要	亀山みずほ台線の運行 ○平田町駅から亀山駅を結ぶ「亀山みずほ台線」を1日あたり15便運行 ○庄野・井田川地区が運行経路に含まれる ○地域間幹線系統であり、国・県の補助対象路線 ○運行欠損に対する負担割合は、路線延長に基づき本市49.6%、亀山市50.4%				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	○亀山みずほ台線の運行に必要な運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両1台、運転手3人、予定走行距離72,525.5km/年) ○亀山みずほ台線に関する情報発信や利用促進の実施	事業費	8,792	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	8,792
2025年度 (当初予算額)	○亀山みずほ台線の運行に必要な運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両1台、運転手3人、予定走行距離72,525.5km/年) ○亀山みずほ台線に関する情報発信や利用促進の実施	事業費	8,027	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	8,027
2026年度 (計画額)	○亀山みずほ台線の運行に必要な運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両1台、運転手3人、予定走行距離72,525.5km/年) ○亀山みずほ台線に関する情報発信や利用促進の実施	事業費	8,792	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	8,792
2027年度 (計画額)	○亀山みずほ台線の運行に必要な運行・管理業務の委託 (※基本的な仕様:車両1台、運転手3人、予定走行距離72,525.5km/年) ○亀山みずほ台線に関する情報発信や利用促進の実施	事業費	8,792	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	8,792

活動指標	年間運行便数	単位	便	事業費合計	34,403		
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳	特定財源	0
①見込値	5490	5490	5490	5505			
②実績値					財源内訳	一般財源	34,403
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43405	基本施策 番号	434	部局名	都市整備部
				所属名	都市計画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	利便性の高い地域公共交通の構築

事業名	地域公共交通ネットワーク形成促進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				

事業の目的	市民や来訪者の移動を支える公共交通機関の維持・確保、利便性向上のために交通事業者、地域住民等の関係者と連携して、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成する。
-------	---

事業概要	<p>鉄道に関する同盟会や連盟での整備促進の取組の実施及び鈴鹿市地域公共交通計画に位置付けた施策の実施、目標の達成状況を鈴鹿市地域公共交通会議(法定協議会)において評価・検証し、必要に応じて施策の取組内容やスケジュールの見直しを行う。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な旅客運送サービスの確保に必要な取組の実施 ・便利で移動しやすい環境の整備 ・地域公共交通の確保に向けた手順の明確化 ・地域公共交通の確保のための取組体制・支援体制の構築 ・情報提供の充実による利用促進 ・地域公共交通の利用促進に向けた意識醸成
------	--

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・鉄道に関する同盟会や連盟への分担金の負担と当該規約に基づく取組の実施 ・鈴鹿市地域公共交通会議の運営 ・地域の移動に関する課題解決に必要な取組の実施 ・地域公共交通に関する情報発信 ・バスの乗り方教室や利用促進イベント等の企画・実施 ・第三セクター伊勢鉄道に対する支援負担 (R6:16,500千円/R7:16,500千円/R8:16,444千円 計:49,444千円を負担) 【特財】(諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,030千円	事業費	21,699	
		財源内訳	特定財源	1,030
		一般財源	20,669	
2025年度 (当初予算額)	・鉄道に関する同盟会や連盟への分担金の負担と当該規約に基づく取組の実施 ・鈴鹿市地域公共交通会議の運営 ・地域の移動に関する課題解決に必要な取組の実施 ・地域公共交通に関する情報発信 ・バスの乗り方教室や利用促進イベント等の企画・実施 ・第三セクター伊勢鉄道に対する支援負担 (R6:16,500千円/R7:16,500千円/R8:16,444千円 計:49,444千円を負担) 【特財】(諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,030千円	事業費	21,356	
		財源内訳	特定財源	980
		一般財源	20,376	
2026年度 (計画額)	・鉄道に関する同盟会や連盟への分担金の負担と当該規約に基づく取組の実施 ・鈴鹿市地域公共交通会議の運営 ・地域の移動に関する課題解決に必要な取組の実施 ・地域公共交通に関する情報発信 ・バスの乗り方教室や利用促進イベント等の企画・実施 ・第三セクター伊勢鉄道に対する支援負担 (R6:16,500千円/R7:16,500千円/R8:16,444千円 計:49,444千円を負担) 【特財】(諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,030千円	事業費	21,643	
		財源内訳	特定財源	1,030
		一般財源	20,613	
2027年度 (計画額)	・鉄道に関する同盟会や連盟への分担金の負担と当該規約に基づく取組の実施 ・鈴鹿市地域公共交通会議の運営 ・地域の移動に関する課題解決に必要な取組の実施 ・地域公共交通に関する情報発信 ・バスの乗り方教室や利用促進イベント等の企画・実施 【特財】(諸収入)C-BUS広告協賛収入 1,030千円	事業費	5,199	
		財源内訳	特定財源	1,030
		一般財源	4,169	

活動指標	事業検討のために実施・参加した会議の回数	単位	回	事業費合計	69,897
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	5	5	5	5	特定財源 4,070
②実績値					一般財源 65,827
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43501	基本施策 番号	435	部局名	都市整備部
				所属名	住宅政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	良好な住環境・景観の保全

事業名	空き家対策事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	良好な住環境の確保を目的に、空き家の解消、空き家化の抑制・予防を図るため、民間企業と連携した空き家除却支援、空き家無料相談会の開催など空き家対策に取り組む。また、管理組合によるマンションの管理の適正化を推進するため、マンションの管理の適正化に関する啓発及び知識の普及に取り組む。				
事業概要	○空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策計画に関する施策を推進する事業。 ○マンションの管理の適正化の推進に関する法律に基づくマンション管理適正化推進計画に関する施策を推進する事業。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	○空き家対策事業費 ・空き家所有者等調査委託費 363千円 ・財産管理制度申立てに係る経費 1,300千円 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助 1,000千円 ・空き家等除却費補助金 1,500千円 ・その他空き家対策事業に係る経費 771千円 ・緊急代執行による特定空家等除却 3,000千円 ○マンション管理の適正化の推進等に係る経費 ・実態調査に係る経費 13千円 【特財】空き家対策総合支援事業補助金 3,520千円	事業費	7,947	
		財源内訳	特定財源	3,520
		一般財源	4,427	
2025年度 (当初予算額)	○空き家対策事業費 ・空き家所有者等調査委託費 400千円 ・財産管理制度申立てに係る経費 2,600千円 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助 1,000千円 ・空き家等除却費補助金 2,500千円 ・その他空き家対策事業に係る経費 610千円 ○マンション管理の適正化の推進等に係る経費 ・マンション管理の適正化の推進等に係る経費 17千円 【特財】空き家対策総合支援事業補助金 3,394千円	事業費	7,127	
		財源内訳	特定財源	3,394
		一般財源	3,733	
2026年度 (計画額)	○空き家対策事業費 ・空き家所有者等調査委託費 400千円 ・財産管理制度申立てに係る経費 2,600千円 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助 500千円 ・空き家等除却費補助金 3,000千円 ・その他空き家対策事業に係る経費 610千円 ○マンション管理の適正化の推進等に係る経費 ・マンション管理の適正化の推進等に係る経費 17千円 【特財】空き家対策総合支援事業補助金 3,394千円	事業費	7,127	
		財源内訳	特定財源	3,394
		一般財源	3,733	
2027年度 (計画額)	○空き家対策事業費 ・空き家所有者等調査委託費 400千円 ・財産管理制度申立てに係る経費 2,600千円 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助 500千円 ・空き家等除却費補助金 3,000千円 ・その他空き家対策事業に係る経費 610千円 ○マンション管理の適正化の推進等に係る経費 ・マンション管理の適正化の推進等に係る経費 17千円 【特財】空き家対策総合支援事業補助金 3,394千円	事業費	7,127	
		財源内訳	特定財源	3,394
		一般財源	3,733	

活動指標	空き家バンクの年間成約件数	単位	件	事業費合計	29,328
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	13	13	13	13	特定財源 13,702
②実績値					一般財源 15,626
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43502	基本施策 番号	435	部局名	都市整備部
				所属名	住宅政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	良好な住環境・景観の保全

事業名	移住・定住促進事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				

事業の目的	将来にわたり、本市が市民生活に必要な都市機能を維持・確保し、質の高い市民サービスを安定的に提供していくため、人口減少を可能な限り抑止するとともに、人口獲得や関係人口増加の取組として、移住支援金の支給など移住・定住促進に取り組む。
-------	--

事業概要	<p>○市外から本市への移住を促進するとともに、本市への定住を促進するための事業。</p> <p>○東京圏(在住者又は通勤者)から鈴鹿市へ移住し、三重県が選定した中小企業等に就業した者などに対し補助金を交付し、移住の促進を図るための事業。</p>
------	---

年度	事業説明	(千円)	
2024年度 (最終予算額)	○移住・定住促進事業費 ・移住相談等旅費 108千円 ・消耗品費 50千円 ・印刷製本費 50千円 ・移住相談フェア啓発物品等配送料 25千円 ・移住定住ポータルサイト運営業務委託費 282千円 ・会場借上料 220千円 ・移住支援金 2,600千円 【特財】(県支出金)三重県移住支援事業費補助金 1,950千円	事業費	3,335
		財源内訳	特定財源 1,950
		一般財源	1,385
2025年度 (当初予算額)	○移住・定住促進事業費 ・移住相談等旅費 54千円 ・消耗品費 50千円 ・移住相談フェア啓発物品等配送料 25千円 ・会場借上料 132千円 ・移住支援金 2,600千円 【特財】(県支出金)三重県移住支援事業費補助金 1,950千円	事業費	2,861
		財源内訳	特定財源 1,950
		一般財源	911
2026年度 (計画額)	○移住・定住促進事業費 ・移住相談等旅費 54千円 ・消耗品費 50千円 ・移住相談フェア啓発物品等配送料 25千円 ・会場借上料 132千円 ・移住支援金 2,600千円 【特財】(県支出金)三重県移住支援事業費補助金 1,950千円	事業費	2,861
		財源内訳	特定財源 1,950
		一般財源	911
2027年度 (計画額)	○移住・定住促進事業費 ・移住相談等旅費 54千円 ・消耗品費 50千円 ・移住相談フェア啓発物品等配送料 25千円 ・会場借上料 132千円 ・移住支援金 2,600千円 【特財】(県支出金)三重県移住支援事業費補助金 1,950千円	事業費	2,861
		財源内訳	特定財源 1,950
		一般財源	911

活動指標	移住支援事業に基づく移住者数	単位	件	事業費合計	11,918
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	2	2	2	2	財源内訳 特定財源 7,800
②実績値					一般財源 4,118
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43601	基本施策 番号	436	部局名	都市整備部
				所属名	建築指導課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。				
基本施策	安全な住宅や建築物の普及促進				

事業名	ブロック塀等除却工事業助成				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	大地震の発生に想定されるブロック塀の倒壊による事故を未然に防止することにより、通行人の安全及び緊急避難路を確保し、安全で災害に強いまちづくりの推進を図る。				
事業概要	大地震の発生時に想定されるブロック塀の倒壊による事故を未然に防止することで通行人の安全及び緊急避難路を確保し、安全で災害に強いまちづくりの推進を図るため、公道に面しているブロック塀の所有者等に対し、除却費用の一部を助成する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	公道に面するブロック塀等で道路からの高さが1メートルを超えるもの等に対し、助成金を交付する。	事業費	2,145	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	2,145
2025年度 (当初予算額)	公道に面するブロック塀等で道路からの高さが1メートルを超えるもの等に対し、助成金を交付する。	事業費	1,950	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,950
2026年度 (計画額)	公道に面するブロック塀等で道路からの高さが1メートルを超えるもの等に対し、助成金を交付する。	事業費	1,950	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,950
2027年度 (計画額)	公道に面するブロック塀等で道路からの高さが1メートルを超えるもの等に対し、助成金を交付する。	事業費	1,950	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,950

活動指標	助成金交付件数				単位	件	事業費合計	7,995	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度			財源内訳	特定財源	0
①見込値	55	50	50	50				一般財源	7,995
②実績値									
割合(②÷①)									

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43602	基本施策 番号	436	部局名	都市整備部
				所属名	建築指導課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	安全な住宅や建築物の普及促進

事業名	アスベスト対策事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、安全・安心な生活環境を確保する。				
事業概要	アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、安全・安心な生活環境を確保するため、民間建築物における吹付けアスベストの使用実態を把握し、除去等の対策を促す。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	民間建築物のアスベスト含有調査に係る委託料。 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金/アスベスト対策 250千円	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	民間建築物のアスベスト含有調査に係る委託料。 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金/アスベスト対策 250千円	事業費	250	
		財源内訳	特定財源	250
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	民間建築物のアスベスト含有調査に係る委託料。 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金/アスベスト対策 250千円	事業費	250	
		財源内訳	特定財源	250
			一般財源	0
2027年度 (計画額)	民間建築物のアスベスト含有調査に係る委託料。 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金/アスベスト対策 250千円	事業費	250	
		財源内訳	特定財源	250
			一般財源	0

活動指標	調査件数	単位	件	事業費合計	750
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	1	1	1	1	750
②実績値					0
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43603	基本施策 番号	436	部局名	都市整備部
				所属名	建築指導課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。				
基本施策	安全な住宅や建築物の普及促進				

事業名	木造住宅等耐震対策支援事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	地震により倒壊する可能性が高いとされる昭和56年5月31日以前に着工された旧耐震基準の木造住宅の耐震化を促進することで災害時における市民の生命の安全と安心を確保する。				
事業概要	大規模地震から市民の生命・財産を守るため、鈴鹿市耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に建築された旧耐震基準の木造住宅の耐震診断、耐震補強設計、耐震補強工事等を補助する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	木造住宅耐震診断業務に係る委託料や、申請者に対し耐震診断決定通知書を送付するための郵便料。耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」と診断された木造住宅で、耐震補強に係る設計や耐震補強設計に基づく耐震補強工事やリフォーム工事若しくは除却工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震診断費分 5,192千円 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震補強工事費分 15,000千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震診断費分 2,596千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅補強設計費分 900千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震補強工事費分 7,700千円	事業費	46,410	
		財源内訳	特定財源	31,388
		財源内訳	一般財源	15,022
2025年度 (当初予算額)	木造住宅耐震診断業務に係る委託料や、申請者に対し耐震診断決定通知書を送付するための郵便料。耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」と診断された木造住宅で、耐震補強に係る設計や耐震補強設計に基づく耐震補強工事やリフォーム工事若しくは除却工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震診断費分 9,075千円 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震補強工事費分 15,750千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震診断費分 4,537千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅補強設計費分 1,700千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震補強工事費分 9,500千円	事業費	59,325	
		財源内訳	特定財源	40,562
		財源内訳	一般財源	18,763
2026年度 (計画額)	木造住宅耐震診断業務に係る委託料や、申請者に対し耐震診断決定通知書を送付するための郵便料。耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」と診断された木造住宅で、耐震補強に係る設計や耐震補強設計に基づく耐震補強工事やリフォーム工事若しくは除却工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震診断費分 9,075千円 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震補強工事費分 15,750千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震診断費分 4,537千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅補強設計費分 1,700千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震補強工事費分 9,500千円	事業費	59,325	
		財源内訳	特定財源	40,562
		財源内訳	一般財源	18,763
2027年度 (計画額)	木造住宅耐震診断業務に係る委託料や、申請者に対し耐震診断決定通知書を送付するための郵便料。耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」と診断された木造住宅で、耐震補強に係る設計や耐震補強設計に基づく耐震補強工事やリフォーム工事若しくは除却工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震診断費分 9,075千円 (国庫支出金)防災・安全交付金/木造住宅耐震補強工事費分 15,750千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震診断費分 4,537千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅補強設計費分 1,700千円 (県支出金)住まい安心支援事業費補助/木造住宅耐震補強工事費分 9,500千円	事業費	59,325	
		財源内訳	特定財源	40,562
		財源内訳	一般財源	18,763

活動指標	耐震診断件数	単位	件	事業費合計	224,385
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	220	220	220	220	特定財源 153,074
②実績値					一般財源 71,311
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43604	基本施策 番号	436	部局名	都市整備部
				所属名	建築指導課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。				
基本施策	安全な住宅や建築物の普及促進				

事業名	避難路沿道建築物耐震対策支援事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	地震により倒壊する可能性が高いとされる昭和56年5月31日以前に着工された旧耐震基準の沿道建築物の耐震化を促進することで、緊急輸送路を確保し災害時における市民の生命の安全と安心を確保する。				
事業概要	大規模地震から市民の生命・財産を守るため、鈴鹿市耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に建築された旧耐震基準の民間建築物のうち、緊急輸送路沿いの既存耐震不適格建築物で、地震による倒壊により道路を閉塞するおそれのある一定の高さ以上の建築物に対し、耐震補強設計費若しくは改修費を補助する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	耐震補強設計、耐震補強設計に基づく耐震補強工事若しくは除去工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】(耐震補強設計) (国庫支出金)沿道建築物耐震補強設計分 1,374千円 (県支出金)沿道建築物耐震補強設計分 458千円 【特財】(耐震補強工事) (国庫支出金)沿道建築物耐震改修分 2,878千円 (県支出金)沿道建築物耐震改修分 1,199千円	事業費	7,566	
		財源内訳	特定財源	5,909
			一般財源	1,657
2025年度 (当初予算額)	当該年度事業実施なし	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	除却工事を行う際に補助金を交付する。 【特財】(耐震補強工事) (国庫支出金)沿道建築物耐震改修分 32,582千円 (県支出金)沿道建築物耐震改修分 13,575千円	事業費	59,733	
		財源内訳	特定財源	46,157
			一般財源	13,576
2027年度 (計画額)	耐震補強設計を行う際に補助金を交付する。 【特財】(耐震補強設計) (国庫支出金)沿道建築物耐震改修分 2,956千円 (県支出金)沿道建築物耐震改修分 985千円	事業費	4,927	
		財源内訳	特定財源	3,941
			一般財源	986

活動指標	耐震改修工事実施件数	単位	件	事業費合計	72,226
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	1	0	1	0	特定財源 56,007
②実績値					一般財源 16,219
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43605	基本施策 番号	436	部局名	都市整備部
				所属名	市街地整備課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。
基本施策	安全な住宅や建築物の普及促進

事業名	狭あい道路対策事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	幅員が4メートルに満たない道路(狭あい道路)について、拡幅用地等を寄附採納し、舗装等工事を実施し、通行・避難の安全性確保を行う。				
事業概要	狭あい道路について、拡幅の基準となる道路中心の確認を行うとともに、寄附された拡幅用地等に対し、地権者へ報償金を交付する。 また、寄附採納した拡幅用地の道路側溝の移設や舗装工事等の拡幅整備工事を実施する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・対象となる道路:建築基準法42条第2項の規定により、特定行政庁が指定した道路 ・報償金:すべての拡幅用地等について、固定資産税評価相当額(上限あり。)を交付する。 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 12,000千円(1/2) ・工事費:拡幅用地及びすみ切り用地の舗装、道路側溝の移設等 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 25,100千円(1/2)	事業費	77,400	
		財源内訳	特定財源	37,100
			一般財源	40,300
2025年度 (当初予算額)	・対象となる道路:建築基準法第42条第2項の規定により、特定行政庁が指定した道路 ・報償金:すべての拡幅用地等について、固定資産税評価相当額(上限あり。)を交付する。 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 12,000千円(1/2) ・工事費:拡幅用地及びすみ切り用地の舗装、道路側溝の移設等 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 25,100千円(1/2)	事業費	77,217	
		財源内訳	特定財源	37,100
			一般財源	40,117
2026年度 (計画額)	・対象となる道路:建築基準法第42条第2項の規定により、特定行政庁が指定した道路 ・報償金:すべての拡幅用地等について、固定資産税評価相当額(上限あり。)を交付する。 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 15,000千円(1/2) ・工事費:拡幅用地及びすみ切り用地の舗装、道路側溝の移設等 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 26,000千円(1/2)	事業費	87,000	
		財源内訳	特定財源	41,000
			一般財源	46,000
2027年度 (計画額)	・対象となる道路:建築基準法第42条第2項の規定により、特定行政庁が指定した道路 ・報償金:すべての拡幅用地等について、固定資産税評価相当額(上限あり。)を交付する。 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 15,000千円(1/2) ・工事費:拡幅用地及びすみ切り用地の舗装、道路側溝の移設等 【特財】(国庫支出金)防災・安全交付金/狭あい道路整備等促進事業 26,000千円(1/2)	事業費	87,000	
		財源内訳	特定財源	41,000
			一般財源	46,000

活動指標	工事完了件数	単位	件	事業費合計	328,617
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	75	75	75	75	特定財源 156,200
②実績値					一般財源 172,417
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	43701	基本施策 番号	437	部局名	都市整備部
				所属名	住宅政策課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	都市環境が整い、快適で暮らしやすいまちづくりが進んでいる。				
基本施策	居住の安定の確保				

事業名	住宅セーフティネット事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	3 公共建築物等整備事業				

事業の目的	住宅の確保に配慮が必要な市民に対し、安定的な住宅の確保ができるよう入居しやすい賃貸住宅の供給の促進を図る。				
-------	---	--	--	--	--

事業概要	○鈴鹿市市営住宅長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化や老朽化に伴う用途廃止などにより市営住宅を効率的に活用することに加え、民間賃貸住宅を活用した公的賃貸住宅施策を行う。				
------	--	--	--	--	--

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	1 公的賃貸住宅再生事業費 4,180千円 2 市営住宅再生整備事業費(補助事業分) 51,825千円 3 市営住宅再生整備事業費(単独事業分) 10,959千円 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金 1,425千円 (国費支出金)防災・安全交付金 24,310千円 (地方債)公営住宅改善事業債 26,000千円	事業費	66,964	
		財源内訳	特定財源	51,735
			一般財源	15,229
2025年度 (当初予算額)	1 公的賃貸住宅再生事業費 2,376千円 2 市営住宅再生整備事業費(補助事業分) 80,797千円 3 市営住宅再生整備事業費(単独事業分) 14,433千円 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金 1,863千円 (国庫支出金)防災・安全交付金 38,534千円 (地方債)公営住宅改善事業債 40,300千円	事業費	97,606	
		財源内訳	特定財源	80,697
			一般財源	16,909
2026年度 (計画額)	1 公的賃貸住宅再生事業費 4,212千円 2 市営住宅再生整備事業費(補助事業分) 80,795千円 3 市営住宅再生整備事業費(単独事業分) 14,434千円 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金 2,019千円 (国庫支出金)防災・安全交付金 38,378千円 (地方債)公営住宅改善事業債 40,300千円	事業費	99,441	
		財源内訳	特定財源	80,697
			一般財源	18,744
2027年度 (計画額)	1 公的賃貸住宅再生事業費 4,212千円 2 市営住宅再生整備事業費(補助事業分) 81,834千円 3 市営住宅再生整備事業費(単独事業分) 14,550千円 【特財】 (国庫支出金)社会資本整備総合交付金 2,045千円 (国庫支出金)防災・安全交付金 38,871千円 (地方債)公営住宅改善事業債 40,900千円	事業費	100,596	
		財源内訳	特定財源	81,816
			一般財源	18,780

活動指標	長寿命化改修件数	単位	件	事業費合計	364,607
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	2	2	2	2	特定財源 294,945
②実績値					一般財源 69,662
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44101	基本施策 番号	441	部局名	上下水道局
				所属名	経営企画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。				
基本施策	水道事業、下水道事業の安定的な運営				

事業名	水道事業、下水道事業の経営事務				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	水道事業会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	1 すずか推進事業				

事業の目的	水道事業及び下水道事業を安定的な経営を行うため、鈴鹿市上下水道事業経営戦略を策定し、予算の編成を行う。				
-------	---	--	--	--	--

事業概要	<p>水道及び下水道事業の経営の基本計画として鈴鹿市上下水道事業経営戦略を策定し、計画期間における事業の適切な進捗管理を行い経営健全化に向けて取り組むとともに、投資・財政計画に沿った予算を編成する。</p> <p>また、鈴鹿市上下水道事業経営戦略の策定及び改定に当たって意見を求める鈴鹿市上下水道事業経営審議会の運営を行う。</p>				
------	--	--	--	--	--

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市上下水道事業経営戦略の進行管理 ・次期鈴鹿市上下水道事業経営戦略の策定 ・鈴鹿市上下水道事業経営審議会の運営 ・水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の編成及び執行管理 ・業務改善の実施 	事業費	1,086	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,086
2025年度 (当初予算額)	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市上下水道事業経営戦略の進行管理 ・次期鈴鹿市上下水道事業経営戦略の策定 ・鈴鹿市上下水道事業経営審議会の運営 ・水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の編成及び執行管理 ・業務改善の実施 	事業費	468	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	468
2026年度 (計画額)	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市上下水道事業経営戦略の進行管理 ・次期鈴鹿市上下水道事業経営戦略の策定 ・鈴鹿市上下水道事業経営審議会の運営 ・水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の編成及び執行管理 ・業務改善の実施 	事業費	27,368	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	27,368
2027年度 (計画額)	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市上下水道事業経営戦略の進行管理 ・水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の編成及び執行管理 ・業務改善の実施 	事業費	1,050	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	1,050

活動指標	経営に関する局内会議の開催回数	単位	回	事業費合計	29,972
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 0 一般財源 29,972
①見込値	10	14	8	6	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44201	基本施策 番号	442	部局名	上下水道局
				所属名	水道工務課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。
基本施策	水道施設の整備と維持管理

事業名	水道施設の整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	水道事業会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	安全安心な水道水を安定供給するため、水道施設を計画的に整備するとともに事業者等からの要請に対応し布設替工事や受託工事等を行う。				
事業概要	鈴鹿市水道施設整備方針及び老朽管更新計画に基づき、施設整備や管路整備を計画的に行う。 また、道路管理者からの要請等による水道管の布設替えを行うとともに、鉄道軌道下における水道管の更生工事を計画的に行う。 そのほか、他事業工事等で水道管路が支障になった場合の移設工事を行うとともに、開発及び個人申請に伴う水道管の新設、増径などの受託工事を行う。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・鈴鹿市水道事業計画等策定業務委託 外 ・高岡配水本管布設工事1-1工区 外 ・西条二丁目配水管更生工事 ・開発及び個人申請による布設工事、消火栓設置工事、給配水管の移設工事 【特財】水道(企業債)企業債 446,600千円 水道(工事負担金)開発工事等負担金 44,786千円 水道(工事負担金)その他工事負担金 264,754千円 水道(国県補助金)国庫補助金 56,546千円 水道(他会計負担金)一般会計負担金 13,130千円	事業費	1,553,121	
		財源内訳	特定財源	825,816
		財源内訳	一般財源	727,305
2025年度 (当初予算額)	・住吉御園配水本管詳細設計業務委託 外 ・高岡配水本管布設工事2-1工区 外 ・長太旭町二丁目外配水管更生工事 ・開発及び個人申請による布設工事、消火栓設置工事、給配水管の移設工事 【特財】水道(企業債)企業債 515,100千円 水道(工事負担金)開発工事等負担金 45,219千円 水道(工事負担金)その他工事負担金 150,302千円 水道(国県補助金)国庫補助金 56,873千円 水道(他会計負担金)一般会計負担金 14,590千円	事業費	1,615,583	
		財源内訳	特定財源	782,084
		財源内訳	一般財源	833,499
2026年度 (計画額)	・管路詳細設計業務委託 外 ・高岡配水本管布設工事 外 ・配水管更生工事 ・開発及び個人申請による布設工事 ・給配水管の移設工事 【特財】水道(企業債)企業債 123,600千円 水道(工事負担金)開発工事等負担金 18,569千円 水道(工事負担金)その他工事負担金 164,469千円(一般会計負担金を含む。)	事業費	1,640,000	
		財源内訳	特定財源	306,638
		財源内訳	一般財源	1,333,362
2027年度 (計画額)	・管路詳細設計業務委託 外 ・高岡配水本管布設工事 外 ・配水管更生工事 ・開発及び個人申請による布設工事 ・給配水管の移設工事 【特財】水道(企業債)企業債 384,400千円 水道(工事負担金)開発工事等負担金 18,569千円 水道(工事負担金)その他工事負担金 164,469千円(一般会計負担金を含む。)	事業費	1,640,000	
		財源内訳	特定財源	567,438
		財源内訳	一般財源	1,072,562

活動指標	老朽管路の更新延長	単位	m	事業費合計	6,448,704
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源 2,481,976 一般財源 3,966,728
①見込値	5500	5000	5000	5000	
②実績値					
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44202	基本施策 番号	442	部局名	上下水道局
				所属名	水道施設課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち				
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。				
基本施策	水道施設の整備と維持管理				

事業名	水道施設の整備事業(平野送水場)				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	水道事業会計		新規・継続区分	新規	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	原水に含まれる鉄及びマンガンを原因とする濁り水が多く発生している平野送水系統の水質を改善し濁り水を解消するため、平野送水場に除鉄・除マンガン設備を設置する。				
事業概要	安全安心な水道水を安定供給するため、鈴鹿市水道施設整備方針に基づき、平野送水場に除鉄・除マンガン設備を設置する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	平野送水場除鉄・除マンガン設備設置工事 ・事業費予算化	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2025年度 (当初予算額)	平野送水場除鉄・除マンガン設備設置工事 ・企画提案者募集、ヒアリング・審査委員会 ・契約 ・詳細設計	事業費	0	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	0
2026年度 (計画額)	平野送水場除鉄・除マンガン設備設置工事 ・詳細設計 ・仮設工事 ・既設構造物撤去工事	事業費	61,600	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	61,600
2027年度 (計画額)	平野送水場除鉄・除マンガン設備設置工事 ・除鉄・除マンガン設備基礎工事、場内・場外配管敷設工事 ・天日・排水処理水槽工事 ・除鉄・除マンガン設備制作及び設置工事、ポンプ類設置工事 ・電気設備制御盤制作	事業費	679,800	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	679,800

活動指標	工事の進捗率			単位	%	事業費合計	741,400
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳	特定財源	0
①見込値	0	0	3	35		一般財源	741,400
②実績値							
割合(②÷①)							

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44301	基本施策 番号	443	部局名	上下水道局
				所属名	営業課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。
基本施策	公共下水道、農業集落排水処理施設の整備と維持管理

事業名	水環境保全事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	一般会計			新規・継続区分	継続
事業分類	1 すずか推進事業				
事業の目的	合併処理浄化槽の設置(新設、更新、転換)をした者に対し、補助金を交付する。				
事業概要	海や川の水質汚濁の防止に向けて合併処理浄化槽設置の促進を図るため、国、県による補助事業を活用しながら、合併処理浄化槽設置者の設置費用の一部として、鈴鹿市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要領に基づき補助金を交付する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	合併処理浄化槽設置費補助事業費 《補助費》◇事業区分・人槽別の補助金額(通常/対象区域) ●【国県補助対象外(合併転換)】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計26基 ●【国県補助対象】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計109基 <単独> 5人槽435千円/510千円、7人槽498千円/594千円、10人槽600千円/726千円 計18基 <汲取> 5人槽405千円/480千円、7人槽468千円/564千円、10人槽570千円/696千円 計26基 ●【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金:13,181千円、(県支出金)浄化槽設置促進事業補助金:7,419千円 《事務費》補助金交付額決定通知書等の郵便料及び浄化槽推進協議会等に係る事務費	事業費	31,950	
		財源内訳	特定財源	13,647
			一般財源	18,303
2025年度 (当初予算額)	合併処理浄化槽設置費補助事業費 《補助費》◇事業区分・人槽別の補助金額(通常/対象区域) ●【国県補助対象外(合併転換)】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計27基 ●【国県補助対象】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計96基 <単独> 5人槽435千円/510千円、7人槽498千円/594千円、10人槽600千円/726千円 計18基 <汲取> 5人槽405千円/480千円、7人槽468千円/564千円、10人槽570千円/696千円 計25基 ●【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金:12,069千円、(県支出金)浄化槽設置促進事業補助金:7,109千円 / 《事務費》補助金交付額決定通知書等の郵便料及び浄化槽推進協議会等に係る事務費	事業費	40,766	
		財源内訳	特定財源	19,205
			一般財源	21,561
2026年度 (計画額)	合併処理浄化槽設置費補助事業費 《補助費》◇事業区分・人槽別の補助金額(通常/対象区域) ●【国県補助対象外(合併転換)】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計27基 ●【国県補助対象】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計96基 <単独> 5人槽435千円/510千円、7人槽498千円/594千円、10人槽600千円/726千円 計18基 <汲取> 5人槽405千円/480千円、7人槽468千円/564千円、10人槽570千円/696千円 計25基 ●【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金:12,069千円、(県支出金)浄化槽設置促進事業補助金:7,109千円 《事務費》補助金交付額決定通知書等の郵便料及び浄化槽推進協議会等に係る事務費	事業費	40,766	
		財源内訳	特定財源	19,205
			一般財源	21,561
2027年度 (計画額)	合併処理浄化槽設置費補助事業費 《補助費》◇事業区分・人槽別の補助金額(通常/対象区域) ●【国県補助対象外(合併転換)】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計27基 ●【国県補助対象】<新設> 5人槽126千円/168千円、7人槽159千円/207千円、10人槽210千円/276千円 計96基 <単独> 5人槽435千円/510千円、7人槽498千円/594千円、10人槽600千円/726千円 計18基 <汲取> 5人槽405千円/480千円、7人槽468千円/564千円、10人槽570千円/696千円 計25基 ●【特財】(国庫支出金)循環型社会形成推進交付金:12,069千円、(県支出金)浄化槽設置促進事業補助金:7,109千円 《事務費》補助金交付額決定通知書等の郵便料及び浄化槽推進協議会等に係る事務費	事業費	40,766	
		財源内訳	特定財源	19,205
			一般財源	21,561

活動指標	補助基数	単位	基	事業費合計	154,248
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	179	166	166	166	財源内訳 特定財源 71,262
②実績値					一般財源 82,986
割合(②÷①)					

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44302	基本施策 番号	443	部局名	上下水道局
				所属名	下水道工務課、経営企画課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。
基本施策	公共下水道、農業集落排水処理施設の整備と維持管理

事業名	公共下水道の整備事業				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	下水道事業会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				
事業の目的	日常生活に欠かすことができない都市基盤として重要な役割を担う公共下水道を計画的に整備するとともに適正に汚水を処理することにより、公衆衛生の向上に貢献し、海や川などの水質を保全する。				
事業概要	2026年度に汚水処理人口普及率を95%以上とすることを目標として、効率的に汚水管の整備を推進する。また、三重県が流域下水道管理者として行う北勢沿岸流域下水道(南部処理区)事業における負担金について、四日市市、亀山市とともに日最大計画汚水量に応じた割合を負担する。				

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・汚水管整備(整備予定面積:31.5ha) ・北勢沿岸流域下水道(南部処理区)南部浄化センター第2期建設事業負担金 【特財】公共(下水道企業債)流域下水道事業債 462,800千円 公共(下水道事業債)公共下水道事業債 1,230,500千円 公共(工事負担金)工事負担金 17,600千円 公共(国庫補助金)国庫補助金 789,250千円	事業費	2,539,790	
		財源内訳	特定財源	2,500,150
			一般財源	39,640
2025年度 (当初予算額)	・汚水管整備(整備予定面積:26.1ha) ・北勢沿岸流域下水道(南部処理区)南部浄化センター第2期建設事業負担金 【特財】公共(下水道企業債)流域下水道事業債 428,700千円 公共(下水道事業債)公共下水道事業債 1,515,500千円 公共(工事負担金)工事負担金 20,900千円 公共(国庫補助金)国庫補助金 845,250千円	事業費	2,873,768	
		財源内訳	特定財源	2,810,350
			一般財源	63,418
2026年度 (計画額)	・汚水管整備(整備予定面積:27.2ha) ・北勢沿岸流域下水道(南部処理区)南部浄化センター第2期建設事業負担金 【特財】公共(下水道企業債)流域下水道事業債 181,000千円 公共(下水道事業債)公共下水道事業債 679,800千円 公共(国庫補助金)国庫補助金 268,500千円	事業費	1,542,124	
		財源内訳	特定財源	1,129,300
			一般財源	412,824
2027年度 (計画額)	・北勢沿岸流域下水道(南部処理区)事業負担金 【特財】公共(下水道企業債)流域下水道事業債 152,500千円	事業費	259,070	
		財源内訳	特定財源	152,500
			一般財源	106,570

活動指標	公共下水道処理人口	単位	人	事業費合計	7,214,752	
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	財源内訳 特定財源	6,592,300
①見込値	125497	126226	130675	131174		
②実績値					一般財源	622,452
割合(②÷①)						

2025年度版 実行計画書

実行計画 番号	44303	基本施策 番号	443	部局名	上下水道局
				所属名	営業課

ビジョン	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち
みんなの目標	海や河川の水質が改善されるとともに、安全・安心な水道水が供給されている。
基本施策	公共下水道、農業集落排水処理施設の整備と維持管理

事業名	留保区域における合併処理浄化槽等の設置補助金事務				
事業計画期間	事業開始	2024年4月	～	事業終了	2028年3月
会計区分	下水道事業会計		新規・継続区分	継続	
事業分類	2 インフラ施設等整備事業				

事業の目的	下水道事業計画区域の留保箇所において、合併処理浄化槽を設置した者に対し補助金を交付し、区域外の補助制度との均衡を図るとともに、農業排水集落排水区域において設置費用の一部を補助することにより、海や川などの水質汚濁の防止を図る。
-------	--

事業概要	下水道法第4条に基づく事業計画区域であって、高い投資効果が見込めないなどの事由により下水道施設整備を留保する箇所において、下水道に替わり設置する合併処理浄化槽の設置費用の一部について補助を行う。また、農業集落排水処理施設への接続に係る公共ます等の設置費用の一部を補助する。
------	--

年度	事業説明	(千円)		
2024年度 (最終予算額)	・留保地区合併処理浄化槽補助 ・農業集落排水処理施設への接続に係る補助金交付	事業費	6,693	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	6,693
2025年度 (当初予算額)	・留保地区合併処理浄化槽補助 ・農業集落排水処理施設への接続に係る補助金交付	事業費	5,535	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	5,535
2026年度 (計画額)	・留保地区合併処理浄化槽補助 ・農業集落排水処理施設への接続に係る補助金交付	事業費	5,535	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	5,535
2027年度 (計画額)	・留保地区合併処理浄化槽補助 ・農業集落排水処理施設への接続に係る補助金交付	事業費	5,535	
		財源内訳	特定財源	0
			一般財源	5,535

活動指標	留保地区合併処理浄化槽補助基数	単位	基	事業費合計	23,298
年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
①見込値	7	5	5	5	特定財源 0
②実績値					一般財源 23,298
割合(②÷①)					